

塩田地域協議会 会議概要

1	審議会名	第3回 塩田地域協議会(塩田地区選出市議会議員懇談会)
2	日時	平成23年6月29日 午後3時から午後5時まで
3	会場	上田市塩田公民館小ホール
4	出席者	伊藤委員、大口委員、岡村委員、甲田委員、小林委員、清水委員、関田委員、竹下委員、中村委員、南雲委員、西沢委員、丸山委員、南委員、峯村委員、宮沢委員、山極委員、若林委員
5	出席市議会議員	渡辺議員、安藤議員、小林議員、池田議員、半田議員
6	市側出席者	神林塩田地域自治センター長、海瀬地域振興政策幹、志摩センター長補佐
7	公開・非公開等の別	公開
8	傍聴者	0人 記者 0人
9	会議概要作成年月日	平成23年7月8日

協議事項等	
1	開 会(神林自治センター長)
2	地域協議会長あいさつ 梅雨の中休みで暑い日が続いているが、体調管理に気をつけてもらいたい。地域の活性化を目指して、早い時期に市議会議員との懇談会を設定したので、十分な意見交換をお願いしたい。
3	市議会議員代表あいさつ 塩田地域の発展のために、地域協議会が活動されていることに感謝する。合併後6年になり、地域や市の課題について取り組んでおり、一般質問等行なって活動を深めている。本日は十分な意見交換を行なっていきたい。
4	自己紹介
5	懇談 (1) 「分権型自治」の推進について (懇談) (議員) 地域協議会の位置付けは、「分権型自治」の推進においては不可決のものである。地域協議会委員の受け止め方が問題であり、協議会や自治会のあり方、地域自治センターが新たな時代になじんできているのか。 (会長) 地域協議会は、地域の課題を掘り起こして解決することが課題である。 (議員) 旧町村の役割が見えてこないと先が見えてこない。地域協議会の役割が大きく、協議会の考え方が行政に反映される。二代表制の議員として活動を進めており、地方分権内の市としての生き方や役割分担を明確にして実行すべきである。 (会長) 議員指摘の件については、協議会の活動や課題としている。 (委員) 6年前に自治会連合会へ合併の説明があり、自治会長の立場について協議をした結果自治会連合会の会長が委員となった。地域の声を吸い上げる課題としては、協議会委員任期が2年なのに対して自治会長は1年であり、任期の複数年化を目指すことが課題である。各地域協議会ごとに温度差があると思う。 (議員) 自分は、地域課題を探るために傍聴してきた。地域協議会は、一つのプロセスであり先が見えてこない。地域内分権、予算の執行権のあり方や運用が課題である。地域協議会と市議会の役割分担を明確にする必要がある。 (委員) 正直先が見えないし、協議会が自治会連合会に理解されていない。 (委員) 地域内分権(小さい範囲での分権)には反対である。それが本当に住民のためになるのか疑問である。契約的には、整わないので地に足をつけた議論が必要である。地域内分権には、

人を貼り付けなくてはいけないし、金も必要にあるので色々なことを考えて前進しなくては
いけない。

(委員) 塩田地域にメリットがあったかどうかで考えてみてはどうか。自分はあったと思う。

(会長) メリットがあったと思う。例としては、地域自治センターの整備事業であり、わがまち魅力アップ応援事業にも反映されてきていると思う。

(議員) メリット、デメリットの問題ではないと思う。地域協議会は、わがまち魅力アップ応援事業の審査を行なってきたし、附属機関としての役割は果してきていると理解している。地域課題については、自治会連合会から上がってきているのか、行政へ繋がっているのか検証や確認する必要がある。地域協議会の位置付けや考えを聞いてみたい。

(議員) 「地方分権一括法」が2000年4月に施行されて、住民に一番近い所に住民意見を集約するものとして、地域自治センターをつくってきた。合併による地域自治センター 行政への流れの中で、地方議員の役割として行政全体の視点で考えてもらいたい。行政とのパイプ役に疑問を持っている。地域協議会が意見を持って進むべきもので、議会の機能強化を検討中であり、地方による自己決定、自己責任の時代である。

(委員) 議員として、行政に対して何をするのか議員の考えを聞きたい。

(委員) それぞれに役割分担があるが、住民に地域協議会が理解されておらず、やる気がなくなることもある。役割分担が、住民に理解されていないと思う。

(委員) 地域協議会を知らない住民が多いと思う。役割として、事業基金に関する事項があるが塩田には関係なく、自治基本条例の住民説明会において、住民に説明すべきであった。地域の要望については、「地域協議会を経由して出すように」と言うくらいにして欲しい。(重きが出て住民への理解が深まる)地域協議会への諮問事項が出てこない。地域協議会をお飾りでなく活用(意見聴取)すべきである。行政からの諮問が欲しい。

(会長) 諮問事項では、1期目は市総合計画、2期目ではわがまち魅力アップ応援事業、3期目では市総合計画「地域まちづくり方針」の見直しについて協議をしてきた。また、意見書については、資源循環型施設に関する学習会の開催、地域自治センター整備事業について、別所線電車存続についてなどを提出してきた。

(委員) 自治会の問題を吸い上げてこれなかったが、わがまち魅力アップ応援事業については取組んできた。ため池の保存や活用については、一定程度の支援は必要である。地域課題については、吸い上げてきたつもりでいるが成果が出てこない。活動には資金が必要であるが、資金がなければ出来ないというのはおかしいと思う。

(委員) 地域予算について議会で質問してもらいたい。丸子、真田、武石は地域予算を持っているが、分配しやすい部分はどこなのかも検討したい。市全体の運営について検討が必要で、どの部分の予算が出来るのか検討して欲しい。地域協議会に対する予算の付け方について、質問して方向を出して欲しい。他の課題としては、各団体の意見集約が出来ていないことと、地域協議会の市民権を得られていないことである。

(議員) 別所線電車存続期成同盟会では中央、東部、西部などの地域も会員に加入され、関心がもたれており市全体のこととして理解されてきた。高齢化率の高い自治会が、塩田地域に含まれているが自治会内で解決できない課題の解決について、塩田から情報発信できないものか。防災対策についても協議をすることが必要である。

(委員) 自分は、NGOが選出団体であり、東日本大震災の被災地である宮城県の気仙沼へ行ってきた。気仙沼は、行政の手が行き届かないところだが、自治意識が高く助け合いながらやっていた。自分たちは、行政の手が行き届かないところを中心に救援活動をしてきた。自治意識の高揚が不可欠で、予算がなくてもやっているとところに支援が必要である。地域内の団体を育成して、動きやすいものとするのが重要である。

(委員) 地域協議会のあるべき姿として市は、旧町村に対して気を使いすぎている。自治会連合会としての課題を協議して、行政へ上げるルートを作ってもらいたい。自治会連合会(自治会)の任期1年では何も出来ないうえ、継続性がなく発展しないので地域協議会として上げてもらいたい。

(2) その他

- (委員) 行政、市民、議会が現状や課題について、つまびらかにしてから自治基本条例を作っている、違ったものとなったと思う。議員は市全体を見る、地域協議会委員は地域のことを考えるものと思う。住民が地域交通のことを自分のことと考えるべきである(他人事と思える面がある)。
- (委員) 地域協議会として、どこまで足を突っ込んでいいかわからない。農業に関する課題があるが、どう絞り込んでいいかわからない。テーマとしては、大きすぎて議論にならないと思った。農業の活性化について、議員の考え方を聞きたい。
- (議員) 地域振興委員会のアンケート調査の内容は何か。
- (委員) 介護保険の隙間にある要望や課題など困っている事柄の調査である。個人情報の保護があるので、民生児童委員に協力してもらいたい。住民が、NPOなどの存在を知らないケースがあるので周知が必要である。
- (議員) 地域交通委員会では、何を主としているのか。
- (委員) 結論的には、2本立てと考えている。別所線電車存続だけでなく路線バスにも検討が進んでいる。
- (委員) ため池の関係では、沢山水系 17 か所を調査した中で、しゅんせつについても検討したが、それ以外は今後の検討となる。

6 その他

7月協議会	7月20日(水)	13:30	塩田公民館小ホール
8月協議会	8月18日(木)	13:30	塩田公民館小ホール
9月協議会	9月15日(木)	13:30	塩田公民館小ホール

7 閉会

* 会議概要は原則として公開します。会議終了後、1週間以内に行政改革推進室へ提出してください。

* 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。